

山ぼうし

第23号 平成19年 2月28日 発行

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



新しい時代に生きる卒業生へ

校長 及川 敏 昭

陽ざしがすっかり明るくなり、新しい春の訪れが感じられるようになりました。

さて、113名の卒業生の皆さん卒業おめでとう。3年間の高校生活を終えて皆さんはそれぞれの人生に向かって旅立っていきます。3年間という時の流れを振り返った時、皆さんの心の中はきっと充実した毎日を送ることが出来たというすがすがしい満足感で一杯だろうと思います。

卒業は人生の大事な転機のひとつであり、学校という港から新たな人生航路への旅立ちでもあります。知識や学力が大きな比重を占める学校生活とはちがい、実社会ではもっと総合的、そして全人格的なものが威力を發揮するものです。学業成績の余り振るわなかった者も、皆の陰に隠れて力を出し切れずにいた者も、これからは新しいスタートラインにつくのだという気持ちと、「自分は伝統ある宮古工業高等学校を卒業したのだ。」という自信と誇りを持って堂々と胸を張って力強く歩んでほしいものです。

学校を卒業してはじめて職業に就く時には、これから待っている未知の世界に対し、胸をおどらせる気持ちと同時に「果たしてうまくやっていけるだろうか。」という不安の気持ちがあると思いますが、このような感情は誰れしものが抱くものであり心配することはありません。

最初の勤務先をできるだけ自分一生の仕事と思い、これに一生懸命に打ち込み、そして

絶えず努力し研究していこうとする心構えが大切だと思います。誠実に自分の職務を果たす決意を是非持って下さい。

これからの人生をたくましく生きていくためには、健康は最高の宝です。特にも学校生活から社会人になるこの節目の時期は生活の大きな転換期でもあります。自分自身の健康管理や心の衛生に十分注意することが必要であり、大切です。

また、これから働く職場においては人とのつき合いや対人関係を大事にし、職場の上司や先輩達に可愛がられる職業人になってほしいと思います。そのことがまた仕事への活力と意欲にもつながっていくはずであります。

さらに、自分の夢や希望を実現するために、失敗を恐れず未知の分野に果敢に挑戦をして欲しいものです。たとえ実現する可能性が少なくても、夢や希望は人に生きがいを与え、人生を豊にしてくれます。何かあることを試み、そして失敗する人間のほうが、なにもしないで成功する人間よりどれだけ良いかわかりません。失敗を恐れず、失敗に学び、初心を貫くことが大切だと思っています。

「初心忘るべからず」、勇気と喜びと感謝の気持ちを忘れず、若者らしく力強く未知の世界に力強く羽ばたいてほしいと心から祈っております。

卒業するみんなへ

平成18年度3学年長 小山 淳子

3年生の皆さん、卒業おめでとう。入学したときから皆さんを見ていますが、その成長ぶりに時間の流れをひしひしと感じています。

高校3年間は、皆さんが最も様々な壁にぶつかり、乗り越えてきた3年間でもあったと思います。勉強、部活動、友人関係、報告書やロボット…大変だったことしか思い出せない人もいるかもしれませんが、

一生懸命やった人こそ大きく成長していると思いますし、楽しいことだけでなく苦しいことを共にした仲間こそが一生つきあえる本当の友達になる気がします。

そして、3年間直接お世話になった担任、顧問、科の先生だけでなく、廊下ですれ違うだけの先生方も、本当は皆さんを色々な形で見守ってくれたことに気づいて、感謝の気持ちを持って卒業して欲しいと思います。

皆さんは、やっとならこれから自分で作り上げる人生のステージに立ちます。周りの人との関わりを大事に、悔いのない人生を。

思い出

機械科3年担任 金丸 健

この三年間、泣いたり笑ったりと良い経験をさせて頂きました。

振り返れば様々なことがあり、一言では言い表せません。生徒は停学で坊主になり、赤点でも坊主なる。正直、私から離れられて嬉しいと思っている生徒も少なくないような気がします。一方の私は、寂しくて夜も寝付きが悪いぐらいです。(本当の話)

多くの人に支えられて、教えられて3年間務めることが出来、『三十八人入学者全員進路決定・卒業』を達成することができました。これは、周りの先生方、就職支援相談員の伊藤さん、保護者の方々、そしてM3の生徒に助けられたからです。ありがとうございます。

卒業生には宮古工業での生活を活かして、仕事や学校を辞めずに続けてほしい。今は生徒の未来が幸せであってほしいと心の底から願うばかりです。

最後に1年生の時から教室の前に張り、クラス目標として掲げた言葉を生徒に送りたいと思います。

「強く生きる」

「思いやり」

「志」

頑張れ！

感謝の言葉と贈る言葉

電子機械科3年担任 中村和明

私の夢のひとつは平成19年3月1日卒業式にて実現しました。「自分のクラスを持ち、卒業式を迎えること」これは、自分だけの力で実現したのではなく、私が人生を歩むうえで関わった多くの方々、家族・先生・友達・そしてI3のクラスのみならず保護者の方々が、私を支えていただいたおかげで実現することができました。本当にありがとうございました。また、I3の生徒には本当に感謝しています。私はみんなが入学したと同時に宮古工業に赴任し、2年生から担任となりました。本当にさまざまな出来事があり、みんなの期待に答えれなかった場面や、あの時こうすればもっとみんなを成長させることができたのにと後悔ばかりが思い出されます。ただ、私自身は一緒になって喜怒哀楽を過ごせたこの3年間は充実したものとなりました。本当にありがとうございます！！君たちが社会へ出て活躍していけることを私は信じています。最後になりますが、みんなにこの言葉を贈りたいと思います。

「君たちが経験する、または経験してきた事には無駄なんて無い。成功も失敗も、喜びも悲しみも、楽しいこともつまらないことも…。その経験は必ず自分のためになっているし、自分のためにしていくことが重要である」。

卒業生たちへ

電気科3年担任 阿部仁志

卒業アルバムの編集で君たちが一年生の頃の写真を眺めると、どの生徒も表情が初々しく懐かしい思いがした。今、君たちを見ると皆凛々しい表情をしており「大人になったなあ。」と感じさせられます。

私が高校を卒業して就職間近の頃には「社会人は立派な大人」というイメージが強く、入社日が近づいてくると社会人として、まともに働けるのか不安でいっぱいだったことを思い出します。

今年の春から環境が変わり様々な事を経験していくことになると思います。就職する人は、元気よく挨拶することを心がけましょう。挨拶はどこに行っても基本です。また、入社1年目ではわからないことが多いです。わからないことは積極的に周りの人に聞きましょう。あとは絶対、遅刻だけはしないように。

進学者は何をやりたいから、その進学先で頑張っているのか忘れないようにしましょう。高い授業料を払ってくれている親に感謝し、必ず卒業してください。

皆さんの将来が良い方向に進むことを心より願っております。

素敵な人生と

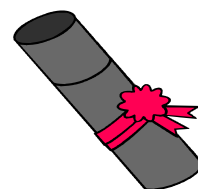
設備工業科3年担任 北村英明

みんなは宮古工業高校を巣立ちます。言葉遣いの丁寧な聞き上手、話し上手で、心優しい思いやりのある人間になって欲しいと思います。素晴らしい人生とは言いませんが、素敵で自信の持てる人生を築いてください。そして家族を大切にしてください。私も、誉められたものではないかも知れませんが。夫婦喧嘩もします。子供も叱ります。子供にも叱れます。いつも良いことばかりではありませんが、いつも一緒に頑張れる夫婦、家族でいたいと思っています。私は、これだという家庭論や人生論など方法はないと思います。色々な夫婦、家族があります。見本や憧れはあっても、全く同じようには行かないと思います。これからの人生、素敵に築き上げていってください。

そして、次のことを心に留めておいて欲しいと思います。子供が出来て、初めて親のありがたみを感じると言いますが、正にその通りです。私も子を持ってしみじみそう感じています。ですから、今までもそうだと思いますが、これからもどうか親を大切にしてください。お願いします。卒業おめでとう。

3月行事予定

- 3月1日 卒業式
- 3月8日 高校入試
- 3月15日 合格発表
- 3月23日 終業式・離任式
(3月8日～22日まで自宅学習)



卒業
おめでとう